



清澄

平成27年1・2月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (有)ブラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

3月

18~24日
彼岸会
27日 18:30
信行会 (唱題行)

4月

27日 14:00
立教開宗会法要
19:00
報恩唱題行
28日 4:50
開宗暁天法要

春のはじめの御悦は 月の満つるがごとく 潮のさすがごとく
草のかこむが如く 雨のふるが如しと思しめすべし

日蓮大聖人のお手紙「四條金吾殿御書」から年賀のお言葉を冒頭に掲げ、清澄寺山頂より新年のご挨拶を申し上げます。

御年六十一歳の日蓮大聖人は、弘安五年正月十二日、供養の品物を鎌倉から身延山のご草庵に届けられた四條金吾頼基に、その志と年頭のお祝いを書き送られました。

「新年を迎えた悦びは、本当に大きく豊かな希望に満ちています。それは、満月が近づいて月輪がだんだん大きく見えるように、周囲が緑につつまれて狭くなるように、暖かい雨が降って万物がみるみる育っていくように、満ち足りた明るい心でいっぱいです」

新年を迎えての、このような清々しいお言葉は、清澄寺の新しい希望のこころそのものといえましょう。

先年来、歳を経た本院の大改築を発願し、僧俗ともどもご結縁を賜り、いよいよ実行の年を迎えることとなりました。客殿庫裡の改築は、貴重な遺産を守りながら、立教開宗の聖地に相応しい伽藍の景観と施設を目指してまいります。何卒一層のご支援の程お願い申し上げます。

今年の「初日の出」は、全国的な悪天候にもかかわらず、幸いなるかな実に晴れ晴れしく靈気に満ちたものでした。天災と人災ともに災難の多いこの頃ですが、「南無妙法蓮華經」のお題目を唱える法華經の経力によって、本年も安泰な一年でありますよう、清澄山上からお祈り申し上げます。

清澄寺十三代別當 二宮 日敬

本院改築変更のご案内



大本山 清澄寺 本院改築完成予想図

ご挨拶

謹啓 御一統様には益々御隆昌の御事とお慶び申し上げます。
 常日頃より当山護持顕彰にお力添えを頂き誠に有難うございます。宗祖御降誕
 八〇〇年・銅像建立一〇〇年慶讃記念事業の一環であります本院改修につきま
 しては各方面から尊い浄財を御寄進賜り有難く御礼申し上げます。

皆様に御願いを致しておりますがこの本院の工事でございますが、当時当山は本
 院の建替えを希望しておりましたが、前任建築士は計画敷地が険しいがけ地に
 囲まれているため、建替え工事は困難であると判断し改修工事案として計画を
 進めてまいりました。しかし、変更した建築士により役所に報告した方が良好
 と判断し計画の説明をしたところ、最終的に役所の判断として本院を現状で使
 用するか、建替え工事とするか、どちらか選択という判断でした。

当山として現状のまま使用することが不可能であるため、詳しい敷地形状の調
 査及び役所との打ち合わせの結果、崖条例第四条に対応出来る建築物を計画す
 ることで、建替え工事が出来る事が判明致しました。

調査と役所の対応や、責任役員・宗務内局・建設委員会に御報告検討し御了承
 頂き、当初の改修工事案を変更し、本院改築建て直し工事案に移行すること
 になりました。

爰に御報告申し上げますと共に御理解の程よろしくお願い申し上げます。

改築工事変更に伴い、建築費用の増加また消費税の増税等もあり当初より資金
 増しもいた仕方なく何とかこの事業を完遂すべく精進してまいりたく存じます。
 引き続き御支援御協力をお願い申し上げます。 合掌

平成二十七年一月

大本山 清澄寺

別當 二宮 將泰

総代役員一同

尚、浄財を御寄進いただいた皆様には個別に本院改築工事変更のお知らせ
 をお送りしましたが、左記の方々が住所不明等で返送されました。

紙面にて工事変更のお知らせをさせて頂きますので御了承願います。

千葉県和讃連絡会様・岡原 靖様・平出充代様・洪鎮順合家様・辻千工子様・
 木戸栄子様・植竹安維様・星 和秀様

年末〜お正月

大掃除

昨年の12月18日に本堂の大掃除が行われ、初詣に参詣される皆様に清々しい気持ちでお参りいただける様、朝早くから山務職員総出のもと行われました。

大晦日 報恩経

午後4時より宮崎執事長、導師のもと山務員と共に、1年間の日蓮大聖人、虚空蔵菩薩に対する報恩感謝の読経が行われました。

水行式

午後11時35分より恒例の水行式が行われました。日蓮宗大荒行堂を成満した大森執事を導師に小澤、荻野山務員、また法助にいられた松本師・清水師の計5人で行われました。

5名が寒水を浴びるたび見に来られていた参列者も合掌をし、一緒になって身心を浄めておりました。



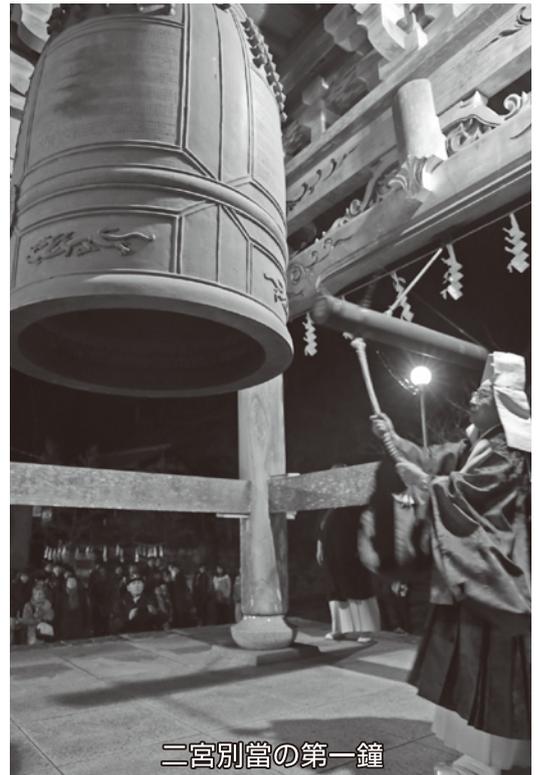
気合いの水行

除夜の鐘

水行式終了の後、鐘楼堂にて午後11時55分より二宮別當の挨拶があり、その後、第一鐘を二宮別當、続いて長谷川孝夫鴨川市長、田代



除夜の挨拶



二宮別當の第一鐘

新春一番祈祷

元旦の0時20分より新年初めての御祈祷「一番祈祷」が行われ、新年一番目の御利益を頂こうと、堂内には入りきれない程の参詣者が参列されました。

又、全国の檀信徒様から申し込まれたお札が400体にもなり、御宝前に奉安され平成27年の年中安泰、年中無難、心願成就を祈り、祈願の読み上げがなされ、宮崎執事長導師のもと8名の修法師により厳修されました。この一番祈祷の後、日



新年の時を待つ行列



一番祈祷を受ける信徒

の出まで途切れることな
く、参拝者が初詣にいらし
ておりました。

初日の出

清澄の旭が森は、富士山
頂や離島を除くと日本で一
番早く日の出が昇る場所
でもあります。この旭が森に
今年も多くの人々が集まり
ました。

冷たい風に耐えながら登
り来る旭日に向かい、南無
妙法蓮華経のお題目を唱え
ながら御来光を待ちまし
た。



雲間よりのご来光

本年は雲が空を覆い、日
の出を見る事は難しいと思
われましたが、集まられた
皆様の声に呼応する様に、
雲の間からでしたが御来
光を拝することができまし
た。

元旦祝祷会

新年の吉辰を迎え、仏祖
三宝諸天善神に、新しい一
年の安泰を祈願させていた
だくのが、元旦祝祷会です。

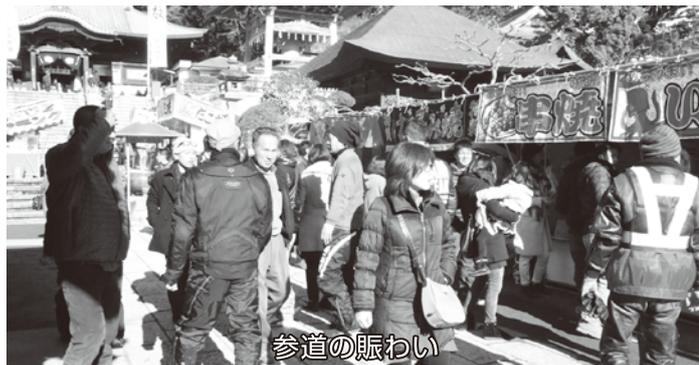


二宮別當 新年のご挨拶

大晦日より参籠の方々に
とっては、早朝よりの旭日
遥拝、そして祝祷会の参列



元旦より7日までの特別祈禱



参道の賑わい

をされ、本年もより良いお
年をお過ごしただけの事
と思います。

清澄寺では、1日から7
日まで新春特別祈禱を行っ

ております。連日天候も良
く、多くの参拝者で賑わい、
境内には木剣の妙音が響き
わたりました。

山務員の退職

松本顕要主事

平成12年から、年数にして15年間にわたり当山
に山務。立教開宗750年の超多忙な時期より務
められました。入寺ということでも退職されますが、
新天地にてのご活躍をご祈念いたします。



新しい年「乙未」の幕開
けです。昨年1・2月は例
年にならない寒い大雪に見舞わ
れましたので、心して新年
を迎えましたが、案の定、
元旦は辺り一面うっすらと
雪が積りました。

しかし、2日以降は天候
も良く参詣者の皆さんで賑
わいました。

宗門でも「立正安国・お
題目結縁運動」は4月から
「開花活動」に入ります。

当山でも本年は、大事な
開花の年になります。皆様
から尊いご浄財を頂き、い
よいよ本院改築事業の着工
の年になります。工事中は
皆様にはご不便、ご迷惑を
おかけする事になります
が、ご理解の程、宜しくお
願い致します。

お山は皆様のお参りをい
ただくことが何よりです。
山務員一同、皆様のご来
山をお待ち申し上げており
ます。

合掌